

静岡県富士宮市

おおしかくぼ

史跡 大鹿窪遺跡

- 日本最古の縄文ムラ -



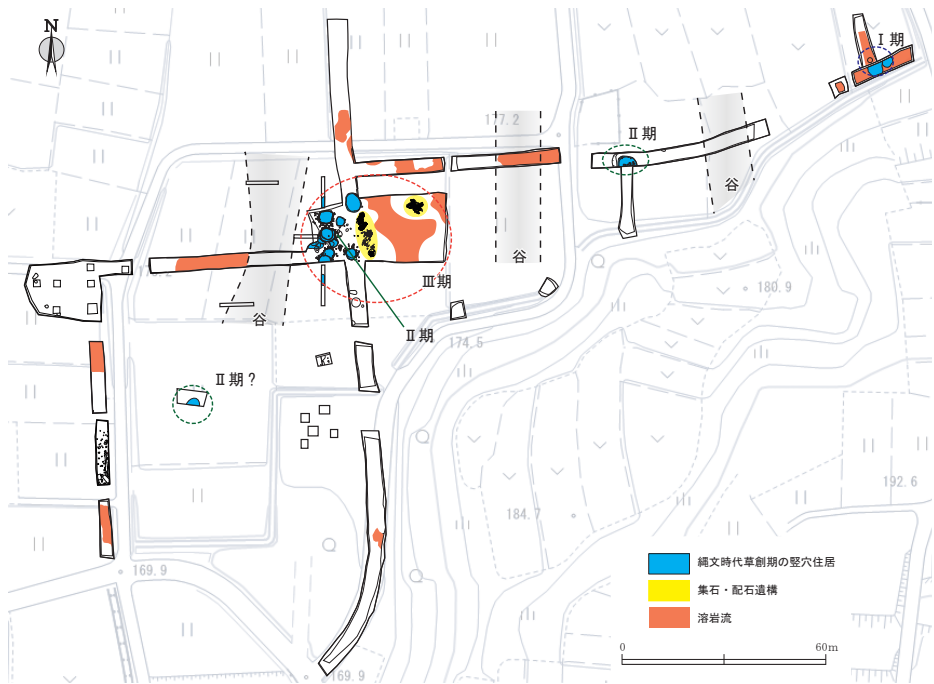
大鹿窪遺跡について

大鹿窪遺跡は、富士宮市大鹿窪にある、縄文時代草創期^{そうそうき}～早期の集落遺跡です。これまでの調査によって、14基（指定当時）もの縄文時代草創期の^{たてあなじゅうきょ}竪穴住居（土を掘り込んで作った住居）の痕跡が発見され、土器・石器などの遺物も多数発見されました。

このような遺跡は全国的に見てもとても珍しいものであり、縄文時代初期の定住開始段階における集落構造を知るうえで非常に貴重な遺跡であるとして、平成20年3月、国史跡に指定されました。

富士宮市では、遺跡の保存活用のため遺跡の整備を行いました。





大鹿窪遺跡の集落跡から見つかった堅穴住居跡群は馬蹄形（馬のひづめの形）^{ばていけい}を成しており、その中の広場から土坑（穴を掘った跡）^{どこう}、集石・配石遺構（石を集めて作った構造物）が見つかっています。

縄文時代草創期の遺構としては堅穴住居 15 基（令和 3 年 3 月時点）、堅穴状遺構 2 基、炉穴 2 基、集石遺構 14 基、配石遺構 8 基、土坑 9 基が検出されています。これらに伴って土器や石器が大量に出土しています。遺構から出土した土器の多くが押圧縄文土器であり、この形の土器が使用された時に集落が営まれたと考えられています。^{おうあつじょうもん}

集落跡は、東側を富士山の溶岩流に、東西を谷状地形に挟まれているため、非常に狭い範囲で居住が繰り返されていたと考えられます。

大鹿窪遺跡からは集落が営まれた時期よりも古い遺物と遺構も見つかっています。今後の発掘調査によって、さらに昔の人々の生活を解明することができるかもしれません。



配石遺構

そうそうき 縄文時代草創期とは

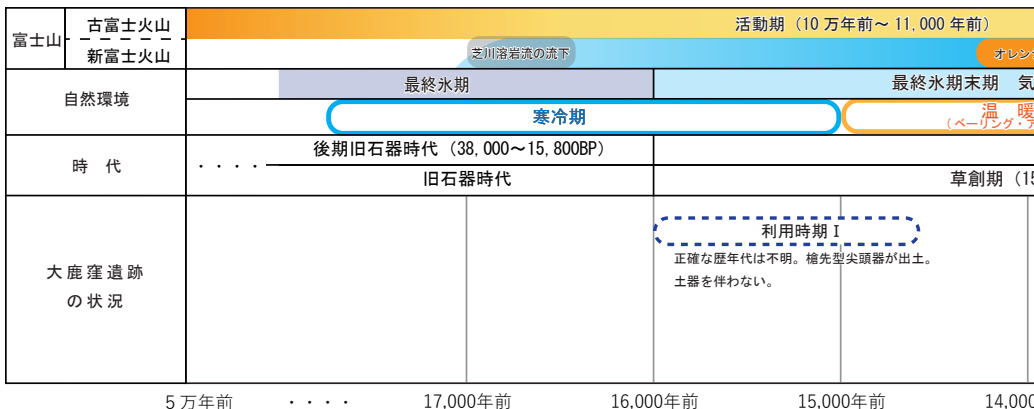
縄文時代は「水田稲作以前の土器をもつ採集を中心とした時代」です※。旧石器時代にはなかった「土器」の発明により、生活が大きく変化しました。

縄文時代は1万年以上続きますが、出土する土器型式（土器の形）に基づいて、6時期（草創期・早期・前期・中期・後期・晩期）に区切られています。この中で最も古い時期が縄文時代草創期と呼ばれます。

草創期のはじめ頃（※15,000～13,000年前）は**氷河期の中でも少し暖かい時期**（晩氷期温暖期：ペーリング・アレレード期）にあたります。この頃には日本列島全体で遺跡数が増加していきます。地域差はあるものの、九州薩南諸島から青森までの遺跡の分布がみられます。温暖化によって果実や木の実などの植物質食料を安定して得ることができるようになり、しだいに同じ場所に留まって生活をするようになりました。

草創期の終わり頃（13,000～11,500年前頃）は**温暖期**の後に**再び寒くなった時期**（ヤンガー・ドリマス期）にあたります。地球規模でこのような過酷な環境下にあったため、日本全体で遺跡数が激減しているという指摘があります。

そして、早期になると気候変動の少ない温暖な気候になり、安定した生活を送ることができるようになることで、生活構造が確立していきます。



5万年前

・・・

17,000年前

16,000年前

15,000年前

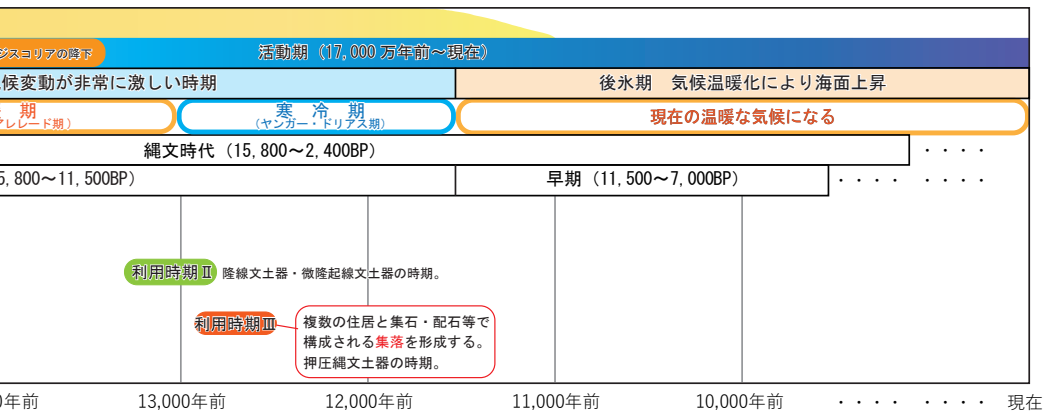
14,000年前





竖穴住居

草創期は縄文時代の他のどの時期にもみられないような大きな環境変化があった時期であり、人々は非常に厳しい環境の中で安定した生活を模索していました。その中で、複数の住居と集石・配石などの構造物が配置された『集落』を形成した大鹿窪遺跡は、他に先駆けて安定した生活をはじめた遺跡だと考えられています。 ※土器が出現した段階を縄文時代草創期のはじめと考える場合



BP: 1950 年を起点として何年前かを示す

暦年代については、小林謙一 2017『縄文時代の実年代』同成社に準拠



大鹿窪遺跡から出土した遺物



りゅうせんもん
隆線文土器

粘土紐を環状に貼り付けたシンプルなつくり。集落が営まれた頃よりも古い段階の土器。



びりゅうきせんもん
微隆起線文土器

隆線文土器と同じころの土器。細い隆線を表面に貼り付けている土器。集落が営まれた頃よりも少し古い段階の土器。



爪形文土器

爪やへらなどで文様を付けている。集落が営まれた頃の土器。



おうあつじょうもん
押圧縄文土器

棒状のものに縄を巻きつけて、幾何学文様をつけている。集落が営まれた頃の土器。最も多く出土している土器型式。



せきぞく
石鏃

石の矢じり。弓矢をつかって狩猟をしていたことが分かる。



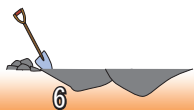
せんとうき
尖頭器

石で作った槍の穂先。槍を使って狩猟をしていたことがわかる。



すりいし たたきいし
磨石・敲石

木の実を磨り潰すなどして加工するために使う道具。



大鹿窪遺跡と富士山



大鹿窪遺跡では、北東方向に富士山を仰ぎ見ることができます。

大鹿窪遺跡の集落に人が住んでいた時は、現在の新富士火山ができたばかりの頃で、古富士がまだ見える状態だったと考えられています。

大鹿窪遺跡の集落のすぐ東側には新富士火山由来の溶岩流が広がっています。この溶岩流は集落が^{れき}つくれるよりも前のもので、集石遺構や配石遺構はこの溶岩の礫を利用してつくっています。このことから、当時の人々にとって、この溶岩流は生活に密接な関係を持っていたことが想像できます。

近年の研究によって、大鹿窪遺跡が使われていた直前にも、富士山の噴火があった可能性が指摘されており、富士山から飛来したテフラ（火山噴出物）が生活していた当時の床面の土から見つかっています。



大鹿窪遺跡の土が**オレンジ色**に見えるのは、土に含まれるテフラ（火山噴出物）が**オレンジ色**をしているからなのです。

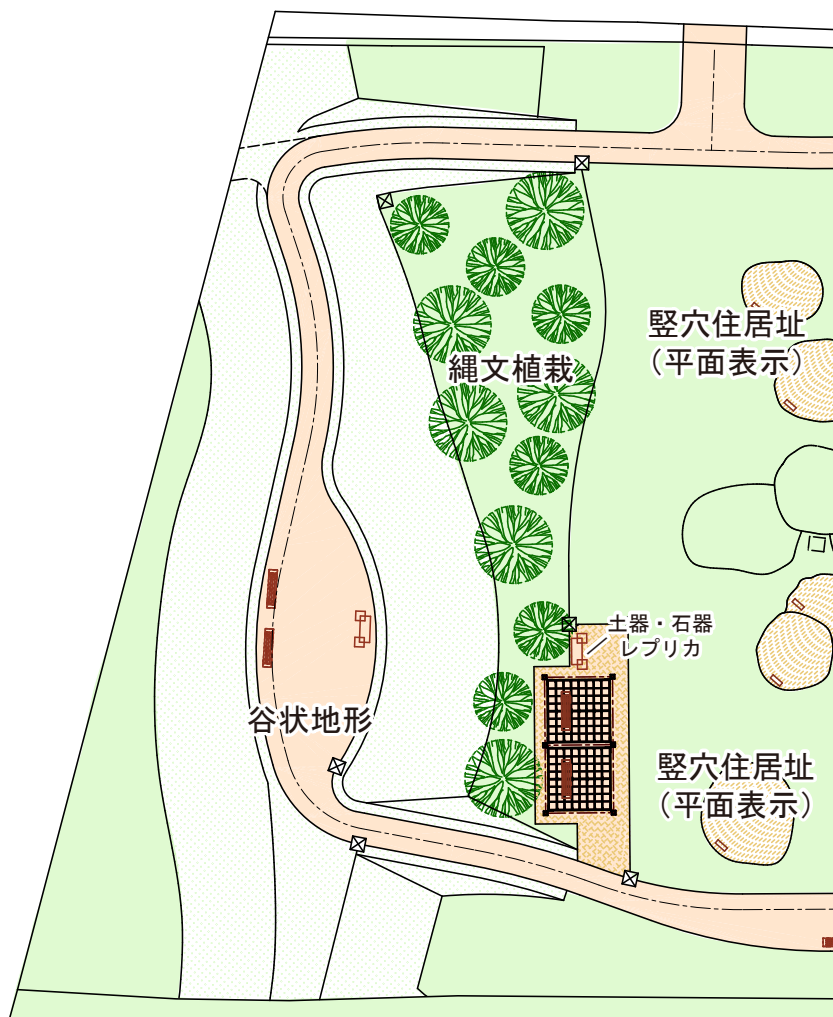


史跡大鹿窪遺跡園地内案内図



史跡大鹿窪遺跡は保護のために埋め戻してありますが、遺跡の重要性を後世に伝え、将来にわたって遺跡を保護し活用していくために、令和4～6年度にかけて、遺跡の整備を行いました。

「日常的な公園利用の中で縄文文化を体験・学習できる場」として、当時の地形の復元や、竪穴住居、集石・配石遺構の平面表示を行い、縄文時代草創期の集落の様子や当時の環境を体感できるようにしました。



大鹿窪遺跡へのアクセス

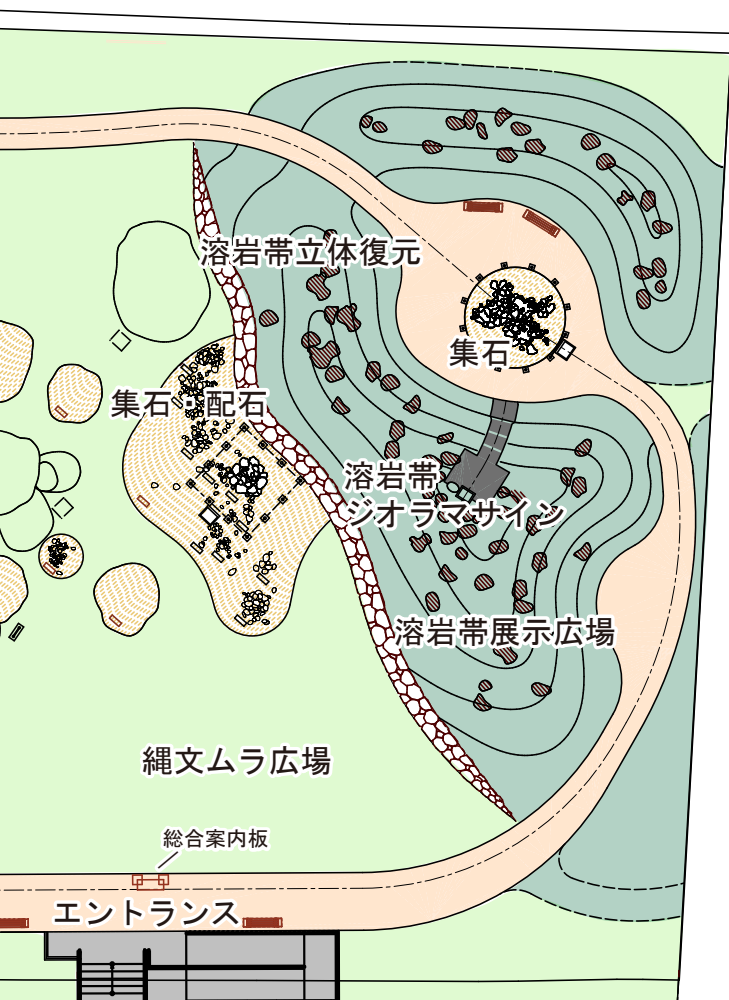
大鹿窪遺跡 所在地：富士宮市大鹿窪 1544 ほか

JR 富士宮駅から

- ・車で約 20 分（約 8km）
- ・バス【富士急行静岡バス】
富士宮駅→大鹿新田または東村

JR 芝川駅から

- ・車で約 15 分（約 7km）
- ・バス【宮バス（旧芝川線）】
芝川会館（芝川駅から徒歩 5 分）→新田



大鹿窪遺跡の楽しみ方 1 ～周辺の文化財～

歩く博物館 T コース (下柚野・大鹿窪地区)

柚野の里をめぐる南コース

歩博のコースに沿って
周辺を散策してみてもいい？



⑦芝川ポットホール



⑥大堀用水



⑤熊野神社



④水沢の道祖神



③三澤寺



②福石神社

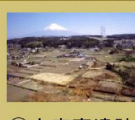


⑧甲石・榎石



⑨ヒイラギ

スタート
大鹿窪 1556
縄文の里大鹿館
駐車場



①大鹿窪遺跡



①大鹿窪遺跡

距離: 約4.5km 所要時間: 約2時間

マークの凡例: 観察ポイント ● ルート — トイレ ⓘ 駐車場 P 寺院 ⓘ 神社 石造物 富士山眺望ポイント 湧水

富士宮市では「歩く博物館」事業を行っています。市内に点在する文化財（歴史・民俗・自然など）を歩いて巡り、見て、ふれ、感じてもらうものです。各地域の特色を活かした24コースを設定しています。

問い合わせ先: 富士宮市教育委員会 Tel 0544-22-1111 (代)

下柚野・大鹿窪地区のみどころ

①大鹿窪遺跡

国指定史跡。約 13,000 年前の縄文時代草創期の遺跡で、十数基の堅穴住居址や大量の縄文土器・石器等が発見された。堅穴住居による集落としては国内最古級のものであり、住居数も同時期では最多となっている。人々がそれまでの洞窟・岩陰での生活から開けた平地での定住を始めた頃の様子が見える貴重な遺跡である。

②福石神社

大鹿窪の氏神。富士山本宮浅間大社と縁のある神社で、かつてはその摂社であった。また、福石神社の禰宜は浅間大社神職の甘葛太夫が兼ねており、浅間大社の流鏝馬祭には大鹿村で精製した甘葛を献上していた。境内には、この他に八坂神社と天神社が合祀されている。

③三澤寺

寺伝によると、開基は三澤院日弘（三澤小次郎の孫・昌弘）、開山は日蓮高弟である六老僧の一人・日朗という。三澤小次郎は、鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』に記載される人物である。

三澤寺は、元は三沢の坊ヶ谷戸にあったが、明暦 3 年（1657）に現在地に移転したという。

④水沢の道祖神

文化 12 年（1815）に造立された双体道祖神で、男神像（右）は笏を持ち、女神像（左）は合掌している。隣には「敬地神」と記された地の神が祀られている。旧芝川町域では地域で地の神を祀る所が多くあり、春には豊作を祈り、秋には収穫を祝う祭りが行われる。

⑤熊野神社

神社裏手の山肌や境内に豊富な湧水がある。羽針丘陵のふもとには同様の湧水が幾つもあり、豊富な水が地域の人々の生活を支えて来たと考えられる。

⑥大堀用水

大堀用水の水路脇に水神碑がある。大堀用水は、大鹿窪・西山・安居山・沼久保を灌漑する用水である。猫沢の燕堰で芝川から取水し、西山までは大堀用水、安居山隧道（トンネル）を抜けて安居山・沼久保を安沼用水（安居山用水）として流れ、流域を灌漑する。

⑦芝川ポットホール

芝川の川底の岩盤にいくつもの丸いくぼみが見られる。これは、水の流れの作用により小石が岩をえぐって出来たもので、ポットホール・甌穴と呼ばれる。ここのポットホールは静岡県天然記念物に指定されている。

⑧甲石・櫃石

道端の平たい大石は「櫃石」と呼ばれ、富士の巻狩にまつわる伝説が伝わっている。頼朝がこの大石の上に鎧櫃を置き、近くに甲を置いたという。櫃石の傍らの田んぼの隅に「甲石」がある。

⑨ヒイラギ

富士宮市指定保存樹のヒイラギの大木である。ヒイラギはモクセイ科の常緑樹で、葉の縁に刺がある。老木になると刺がなくなる。邪鬼の侵入を防ぐとされ、庭木として植えられることが多い。

大鹿窪遺跡の楽しみ方2 ～縄文体験～

大鹿窪遺跡では、一年を通して縄文時代をテーマに楽しく学べる体験学習イベントを展開しています。毎年11月に開催される柚野の里縄文まつりは、縄文文化を感じながら地元の食やステージが楽しめるとあって、多くの人でにぎわいます。

YomonFes

大盛り上がり
柚野の里縄文まつり

YomonFes



Archaeology

縄文時代について
専門家がわかりやすく
解説。

僕らのことを
知ってほしい



Food and Marché

富士宮の“美味”が大集結。



デリシャス♪



市長も味わう



心もお腹も満たされる♪

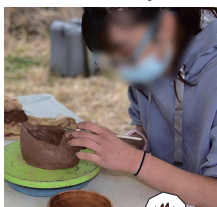


Fun Booths

体験ブースが充実。石器や土器を作ろう！



DOKIDOKI♪



行列のできる火起こし体験！



現代人に
火が起こせるかな？



石器の良し悪しで
狩りの成否が決まるのだ…



Stage Performance

全世代が楽しめるで Show !



地元の児童生徒が
がんばります！



心の火は消さないで～
by カラオケ消防士

講座の詳細については大鹿窪遺跡 WEB ページでご確認ください→

